



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 日特エンジニアリング株式会社 上場取引所 大
 コード番号 6145 URL http://www.nittoku.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 進茂
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)坂口 賢三 (TEL)048(837)2011
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,175	△5.4	1,679	△17.1	1,736	△16.2	1,105	△18.5
24年3月期第2四半期	10,761	42.1	2,026	35.2	2,072	35.3	1,356	65.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 976百万円(△12.7%) 24年3月期第2四半期 1,117百万円(72.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	61 16	— —
24年3月期第2四半期	80 32	— —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	23,261	17,140	73.6
24年3月期	23,098	16,489	71.2

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 17,108百万円 24年3月期 16,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10 00	—	18 00	28 00
25年3月期	—	10 00			
25年3月期(予想)			—	18 00	28 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	△4.8	2,850	△22.3	2,950	△21.5	1,900	△15.3	105 15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社(社名)—、除外 —社(社名)—
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	18,098,923株	24年3月期	18,098,923株
25年3月期2Q	30,122株	24年3月期	30,122株
25年3月期2Q	18,068,801株	24年3月期2Q	16,884,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 当社は、平成24年11月16日に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12
(7) 重要な後発事象	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済の動向は、ヨーロッパ財政危機の常態化、中国経済の減速が世界経済の成長期待に影を落とす大きな要因となり、総じて景気不透明感を抱えたままの混迷した推移となりました。

このような環境の中、当社グループの主力事業である巻線機事業に関連するマーケットでは、技術開発競争を行う携帯端末メーカーや自動車メーカー、それらのサプライヤーの設備投資は勢いには欠けるものの堅調でした。当社グループでは、従来から進めているコイルの小型化や高効率化、省エネ・創エネといったエネルギー利用の進化に向けたコイル、モーターの生産技術の開発、設備の製造・販売は続き、また、省人化設備はニーズのさらなる高まりにより生産システムの開発、設備の製造・販売が増加しました。また、巻線技術から派生した巻取り・搬送といった技術を利用してフィルム巻き、銅線以外のワイヤーなどの生産設備を開発することでこれまで取引のなかった業態への攻勢も進めました。

しかしながら、世界経済の混迷から投資に慎重な姿勢を見せる業態、企業が目立ち、特にコモディティ化の進むAV・家電、PC・OA機器などの分野は、デジカメやテレビ、カーナビなどの機能がスマートフォンを始めとする携帯通信端末に取り込まれたり、HDDの需要が減少するなど、セットメーカーが踊り場を迎え、それらのサプライヤーとともに新規設備投資を避ける傾向が続きました。このため、当社グループでは、量産向けリピーター機の受注・販売が予想を下回り、研究・実験・試作などによってコスト高になる前述のような開発機種種の割合が相対的に上昇することとなりました。

これらの結果、売上高は101億75百万円（前年同期比5.4%減）、営業利益は16億79百万円（前年同期比17.1%減）、経常利益は17億36百万円（前年同期比16.2%減）、四半期純利益は11億5百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(巻線機事業)

全売上高の約96%を占める巻線機事業におきましては、前述のとおり、携帯端末・自動車関連向け設備が堅調ではありましたが、他の業態では総じて設備投資が低迷し、連結売上高は97億77百万円（前年同期比6.0%減）、セグメント利益（営業利益）は18億67百万円（前年同期比17.5%減）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は66億51百万円（前年同期比42.7%減）、売上高（生産高）は88億23百万円（前年同期比6.5%減）、当第2四半期末の受注残高は51億43百万円（前年同期比44.5%減）となりました。

(非接触ICタグ・カード事業)

非接触ICタグ・カード事業におきましては、受注マインドの低下の影響から徐々に回復し、連結売上高は2億90百万円（前年同期比13.9%増）、セグメント利益（営業利益）は75百万円（前年同期比183.4%増）となりました。なお、当社個別ベースでの受注高は2億87百万円（前年同期比9.3%減）、売上高（生産高）は2億90百万円（前年同期比13.9%増）、当第2四半期末の受注残高は1億82百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業におきましては、連結売上高は1億7百万円（前年同期比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は88百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は前連結会計年度末対比1億95百万円減少し、156億37百万円となりました。これは主として、現金及び預金が3億87百万円、受取手形及び売掛金が5億87百万円増加したものの、仕掛品が8億92百万円、原材料及び貯蔵品が1億42百万円減少したことによります。

固定資産は前連結会計年度末対比3億58百万円増加し、76億23百万円となりました。これは主として、長崎事業所の用地取得等により土地が1億13百万円増加したことによります。

この結果、資産合計は前連結会計年度末対比1億62百万円増加し、232億61百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末対比5億9百万円減少し、49億77百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が4億88百万円、未払法人税等が2億51百万円減少したことによります。

固定負債は前連結会計年度末対比21百万円増加し、11億43百万円となりました。これは主として、負ののれんが23百万円減少したものの、退職給付引当金が44百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末対比4億88百万円減少し、61億21百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末対比6億51百万円増加し、171億40百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、資金という。)は、前連結会計年度末対比2億2百万円増加し、62億71百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は12億92百万円(前年同期比108.2%増)となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が16億58百万円、たな卸資産の減少が9億11百万円あったものの、売上債権の増加が6億31百万円、仕入債務の減少が4億54百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億97百万円(前年同期は1億35百万円の収入)となりました。これは主として、定期預金の払戻による収入が13億15百万円、有形固定資産の売却による収入が60百万円あったものの、定期預金の預入による支出が15億23百万円、有形固定資産の取得による支出が3億85百万円、投資有価証券の取得による支出が1億10百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億22百万円(前年同期比39.5%増)となりました。これは配当金の支払が3億22百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成24年11月9日付で業績予想の修正を行っております。なお、業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の数値は、今後のさまざまな要因により異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
重要性がないため、記載を省略しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,523,158	7,911,131
受取手形及び売掛金	4,120,361	4,708,050
仕掛品	2,956,510	2,064,215
原材料及び貯蔵品	723,097	581,084
繰延税金資産	263,357	215,863
その他	263,758	161,819
貸倒引当金	△16,795	△4,571
流動資産合計	15,833,448	15,637,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,366,925	2,306,438
機械装置及び運搬具(純額)	330,436	345,546
土地	1,524,705	1,638,441
その他(純額)	118,028	330,231
有形固定資産合計	4,340,095	4,620,657
無形固定資産		
その他	86,485	94,189
無形固定資産合計	86,485	94,189
投資その他の資産		
投資有価証券	1,267,317	1,288,300
繰延税金資産	1,040,425	1,051,711
その他	538,827	575,732
貸倒引当金	△7,807	△6,856
投資その他の資産合計	2,838,762	2,908,889
固定資産合計	7,265,344	7,623,736
資産合計	23,098,792	23,261,331
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,776,643	3,288,379
未払法人税等	768,610	516,788
賞与引当金	300,386	320,580
その他	641,434	851,431
流動負債合計	5,487,075	4,977,180
固定負債		
退職給付引当金	264,053	308,599
負ののれん	69,311	46,207
その他	789,082	789,028
固定負債合計	1,122,447	1,143,835
負債合計	6,609,522	6,121,016

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,884,928	6,884,928
資本剰余金	2,542,054	2,542,054
利益剰余金	7,243,931	8,023,732
自己株式	△22,917	△22,917
株主資本合計	16,647,996	17,427,797
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,631	△6,961
為替換算調整勘定	△188,655	△312,025
その他の包括利益累計額合計	△191,287	△318,986
少数株主持分	32,561	31,504
純資産合計	16,489,269	17,140,315
負債純資産合計	23,098,792	23,261,331

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	10,761,604	10,175,194
売上原価	7,488,003	7,198,325
売上総利益	3,273,600	2,976,868
販売費及び一般管理費	1,246,827	1,297,467
営業利益	2,026,773	1,679,401
営業外収益		
受取利息	3,292	9,127
受取配当金	15,042	11,619
負ののれん償却額	23,103	23,103
その他	17,695	19,849
営業外収益合計	59,134	63,700
営業外費用		
債権売却損	2,896	3,369
為替差損	4,971	2,741
その他	5,550	185
営業外費用合計	13,417	6,296
経常利益	2,072,490	1,736,805
特別利益		
固定資産売却益	25	20,002
投資有価証券償還益	2,221	—
その他	167	465
特別利益合計	2,414	20,468
特別損失		
固定資産売却損	—	9,922
固定資産除却損	3,898	1,875
投資有価証券評価損	—	86,961
減損損失	1,175	—
災害による損失	2,200	—
その他	—	271
特別損失合計	7,274	99,031
税金等調整前四半期純利益	2,067,629	1,658,242
法人税、住民税及び事業税	715,966	519,187
法人税等調整額	△7,012	33,242
法人税等合計	708,953	552,430
少数株主損益調整前四半期純利益	1,358,675	1,105,812
少数株主利益	2,473	773
四半期純利益	1,356,202	1,105,039

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,358,675	1,105,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△152,814	△4,329
為替換算調整勘定	△87,952	△125,199
その他の包括利益合計	△240,766	△129,528
四半期包括利益	1,117,909	976,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,117,486	977,340
少数株主に係る四半期包括利益	422	△1,056

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,067,629	1,658,242
減価償却費	143,293	138,957
減損損失	1,175	—
負ののれん償却額	△23,103	△23,103
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,982	△13,056
賞与引当金の増減額(△は減少)	100,597	20,892
退職給付引当金の増減額(△は減少)	12,924	44,545
受取利息及び受取配当金	△18,335	△20,747
支払利息	4,162	155
有形固定資産売却損益(△は益)	△25	△10,079
有形固定資産除却損	3,898	1,875
投資有価証券償還損益(△は益)	△2,221	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	86,961
売上債権の増減額(△は増加)	△1,451,046	△631,314
たな卸資産の増減額(△は増加)	△557,838	911,187
仕入債務の増減額(△は減少)	1,284,624	△454,833
未収消費税等の増減額(△は増加)	△111,410	146,740
前受金の増減額(△は減少)	16,299	264,300
その他	37,467	△84,812
小計	1,504,108	2,035,910
利息及び配当金の受取額	18,333	20,616
利息の支払額	△4,096	△155
法人税等の支払額	△897,566	△763,681
営業活動によるキャッシュ・フロー	620,779	1,292,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△372,443	△1,523,941
定期預金の払戻による収入	534,542	1,315,489
有形固定資産の取得による支出	△34,745	△385,297
有形固定資産の売却による収入	31	60,212
投資有価証券の取得による支出	△2,629	△110,800
投資有価証券の償還による収入	41,831	—
保険積立金の積立による支出	△34,761	△34,761
保険積立金の払戻による収入	15,580	—
貸付金の回収による収入	1,136	626
その他	△12,770	△19,172
投資活動によるキャッシュ・フロー	135,771	△697,644

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△50,000	—
自己株式の売却による収入	69,423	—
自己株式の取得による支出	△96	—
配当金の支払額	△250,702	△322,759
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231,375	△322,759
現金及び現金同等物に係る換算差額	△81,813	△69,797
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	443,362	202,488
現金及び現金同等物の期首残高	4,527,627	6,069,304
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,516	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,962,473	6,271,793

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	10,398,935	255,053	107,614	10,761,604
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	10,398,935	255,053	107,614	10,761,604
セグメント利益	2,262,398	26,483	70,370	2,359,252

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,359,252
全社費用(注)	△332,478
四半期連結損益計算書の営業利益	2,026,773

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	巻線機事業	非接触ICタグ・ カード事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	9,777,553	290,629	107,011	10,175,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	9,777,553	290,629	107,011	10,175,194
セグメント利益	1,867,026	75,041	88,776	2,030,843

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,030,843
全社費用(注)	△351,442
四半期連結損益計算書の営業利益	1,679,401

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。